

西区会

会員相互扶助制度がスタート トップを切って西区会が実施 生9-西 西田 圭一

グループ わ が永年の懸案であった会員相互扶助制度の先陣を切って西区会が、9月1日からスタートさせました。

平成17年にグループ わ の本部と相互扶助制度について打ち合わせたのが始まりで、この制度の概要を西区だよりでPRしました。去る2月には会員の皆さんのアンケートをとり、その結果を踏まえて、制度を判りやすくするための実施内容と決まりを作成し、アンケートで支援者OKと答えた44名に支援作業登録書に登録して頂きました。

西区会相互扶助制度の実施概要を作成、全会員に配布して9月1日から同制度をはじめました。同19日には事務局に第1号の利用者から学習相談・指導(パソコン等)の支援申請があり、支援登録者から該当者を選んで2日後、パソコン指導が行なわれました。

この制度は会員が介護保険の対象になるまでの間に、暮らしの様々な分野で困った時、会員同士が助け合うシステムです。西区会には居住実態と支援活動の距離を考えて、4つのブロック(押部谷、西神ニュータウン南部、西神東部・西神南、池上・伊川谷・学園)に区分しました。

原則としてブロック内の登録会員が支援するものとするが、必要な時は事務局で調整する。支援活動を承諾した会員は、利用者と打合せ(日時、場所、作業内容など)を行なった上で、支援活動を実施する。活動に必要な資材、用具などは利用者が準備する。支援活動で問題が発生した時は、原則として当事者間で解決する。

- なお支援作業内容は次の通りです。
- マイカーによる搬送(病院、買物、墓参、物品配送など)
 - 買物、諸届けの代行
 - 庭の手入れ(花壇、草引きなど)
 - 日曜大工、ペンキ塗り、水道修理、軽微な電気修理
 - 屋内清掃
 - 屋外清掃、洗車
 - 犬の散歩
 - 散歩のお供
 - 食事作り 田畑の農作業
 - 代筆、パソコンの書類作成など
 - 子どもの送迎
 - 話し相手
 - 学習相談・指導(パソコンなど)
 - 本、新聞の代読
 - その他

登録されている作業内容は「話し相手」が圧倒的に多いのです。制度を満足させたばかりなので、登録者数や作

〔会員扶助制度の概要〕



事務局コーディネーターには前会長の三島隆夫氏が担当、支援活動費は一人1回(約2時間以内)当り500円と活動実費(交通費、ガソリン代など)を利用者が負担します。支援作業の内容は特殊な技術を要するのではなく、誰もが普通に行なっている日常作業に限っています。

業内容が偏りすぎるなど不備な点も多々ありますが、順次改善したいと思っています。

また他の区会でも相互扶助制度を早く実施して頂き、グループ わ の全会員が利用できるような制度になるよう切に願っております。

兵庫区会

兵庫区会も相互扶助の準備 音2-兵 宮城 智子

兵庫パンジーの会では去る8月に会員66名に「会員相互の助け合いネットワーク」のアンケートを出しました。昨年からの懸案で、一度アンケートをしましたが、中身すら決まらず、今回のアンケートにこぎつけました。

結果は55名から回答、うち50名が何らかの支援活動をしてほしい、5名は扶助が出来ないとの回答です。10月の定例会でこのアンケート結果を検討、連絡網については目途が付き、メールでの連絡が24名、FAX連絡23名、残りは電話連絡です。相互扶助について、実施時期を何時からにするか、また利用者からのお礼をいくにするかなど細部を決める必要があります。

東灘区会

環境に優しい天然ガスを勉強 国7-東 白岩 信義

東灘区会の秋のバス旅行は10月17日(火)大阪ガスの泉北ガス科学館に出かけました。藤井潤子さん(音5)のお世話で実現したもので、会員の半数36名とグループ わ から郷理事長も特別参加して頂きました。



ガス科学館の見学に訪れた東灘区会々員午前10時、東灘区役所前を貸し切りバスで出発、高石市の大阪ガス泉北製造所内のガス科学館を見学しました。

世界の6カ国からタンカーで運ばれて来たマイナス160度の液化天然ガスを海水で気化して一般家庭に供給する仕組みを勉強しました。

大阪ガスでは泉北と姫路の工場から環境に優しい天然ガスを製造、近畿2府4県680万世帯にガスを供給しています。館内で色々な実験装置や工場内